

# World Wide Technology

World Wide Technology は、ALM Octane のテスト機能により市場投入までの時間を短縮しました。大手システムインテグレーターとして、すべてのチームが使用可能なこの統合ツールにより、DevOps の変革を進めています。

## 概要

1990 年創立の World Wide Technology (WWT) は、小規模な製品リセラーから、年間収益 104 億米ドル、従業員 4,600 人のテクノロジーソリューションプロバイダーへと成長してきました。世界中の大手の公的組織と民間組織のテクノロジーニーズに対応しています。これには、世界の有名ブランドの多くが含まれています。

WWT の Advanced Technology Center では、100 ラック以上の機器を使用して、ビッグデータやコラボレーション、コンピューティングのほか、クラウド、モビリティ、ネットワークワーキング、セキュリティ、ソフトウェア、ストレージの各ソリューションをテストしています。

**「誰もが Micro Focus (現在は OpenText™ の傘下) ALM Octane ツールを積極的に使用しています。これにより、これからの作業と完了した作業をすべて把握できるようになりました。作業の所要時間が分かり、不具合があったらソースコードまで遡ることができます。」**

WALTER WHITAKER 氏  
品質保証担当者  
World Wide Technology

## 課題

WWT の最大の課題は、規模が 4 年ごとに倍に拡大しており、チーム間の連携がない水平的組織であることでした。会社の成長を支えるには、垂直的な組織に転換する必要があり、そのための統合ツールを必要としていました。各テストプロジェクトを完了し、市場投入までの時間を短縮するには、全従業員が必要なリソースをすべて使えるようにする必要がありました。

WWT の品質保証の担当者である Walter Whitaker 氏は、次のように語ります。「当社の IT 部門を例に挙げると、3 年前は従業員が今の半分もいませんでした。そのため、規模を拡大するための唯一の手段がテクノロジーだったのです。アジャイル手法や DevOps 手法を積極的に取り入れていきました。私たちに必要なのは、チーム内のすべてのメンバーが使用できるツールです。そうすれば、たとえば QA ツールを使用するためだけに QA 担当者を配置する必要がなくなります。」

「QA 担当者は以前のツールを気に入っていましたが、そのソリューションは開発者には使えませんでした。当社では、ほぼすべての開発者が Mac を使用しています。つまり、以前のツールに入るには、Citrix インスタンスを立ち上げる必要があったのです。そのツールのカスタマーエクスペリエンスは私たちが求めているものではなかったうえ、デリバリーチームも、付加価値はあまりないと感じていました。」



World Wide Technology

## 概要

### 業種

ソフトウェアおよびテクノロジー

### 所在地

米国

### 課題

開発とテストのプロセスを合理化し、市場投入までの時間を短縮して製品の品質を向上させる。

### 製品とサービス

Application Lifecycle Management Octane

### 成功ポイント

- + 本番稼働までの期間を 2 か月から 1 週間に短縮
- + さらに 1 時間まで短縮し、1 日最大 10 件の導入が目標
- + テストパイプラインの完全な自動化により、ボタンを押すだけの導入を目指す
- + SaaS モデルでコストの削減と自動アップグレードを実現

「Micro Focus (現在は OpenText™ の傘下) ALM Octane SaaS ソリューションを使用する最大のメリットは、6 週間ごとに自動更新されて新機能を使用できるようになることです。更新処理中にシステムが不安定になることもありません。これにより、アプリケーションの保守ではなく、品質保証に集中できます。」

WALTER WHITAKER氏  
品質保証担当者  
World Wide Technology

お問い合わせ

OpenText の CEO、  
Mark Barrenechea のブログ



## ソリューション

WWT が DevOps の変革に積極的に取り組み始めた頃、OpenText™ Discover イベントで OpenText™ ALM Octane のデモを見る機会がありました。そのとき Whitaker 氏は、これなら既存のテスト管理ツールで直面してきた多くの課題に対応できると確信しました。インターフェイスが優れており、どのブラウザとも連携でき、他のツールに容易に統合できます。同社は、Software-as-a-Service (SaaS) デリバリーを選択しました。

Octane は、アプリケーションライフサイクル管理 (ALM) ソリューションです。機動性の高いリーン型やアジャイル型のチームのほか、DevOps パイプラインを通じたソフトウェアのデリバリーをサポートすることを目的としています。高品質でパフォーマンスの優れた魅力的なアプリケーションを迅速にデリバリーするという要件をサポートするために作られました。

ALM Octane は、OpenText™ ALM 製品の 1 つであり、OpenText™ Agile Manager および従来の OpenText™ ALM.NET プラットフォームの両方と統合されているため、チームは簡単に資産の共有や複数のプロジェクトにまたがった報告を行うことができます。

## 成果

WWT では、Octane を導入してすぐに市場投入までの時間を短縮することができました。Whitaker 氏は次のように説明します。「総合的な DevOps の変革の一環だったのですが、一部の開発グループは、本番稼働までの期間を 1 か月から 1 週間に短縮できました。私たちは、これを 1 時間まで短縮できると考えています。」

「開発中の新しいパイプラインにより、1 日に最大 10 件の導入に対応できると考えています。つまり、ビジネスにおいては、より早く機能が提供され、機能に不備があった場合はすぐにフィードバックが得られて、修正できるということになります。」

合理化を効率よく進めるキーとなるのが、プロセスの自動化です。WWT は、Octane なら、ボタンを押すだけで完全な DevOps を導入できると期待しています。すべてのテストを自動化すれば、開発者が GitHub に変更を加えた場合、ユーザーの操作不要で運用までの全段階に変更が反映されます。

SaaS デリバリーを選択したこともメリットにつながっています。「SaaS ソリューションを使用することで、ソフトウェアやアプリケーションの保守ではなく、品質保証に集中できます。6 週間ごとに自動的に更新されて、新機能が使用できるようになります。更新処理中にシステムが不安定になることもありません」と Whitaker 氏。「ライセンスのスケールアップ/スケールダウンも電話するだけですし、導入コストもかなり抑えられるので、新たなソリューションを試すことができます。」

「チームは、このソリューションの付加価値と、カスタマーエクスペリエンスの向上を実感しています。求めていたツールを使って作業ができ、すべての情報を必要に応じてやり取りできるようになったのです。」

WWT では、今後も Octane を最大限に活用し、大規模な Oracle のアップグレード計画や Oracle 環境をオンプレミスからクラウドに移行する計画を Octane でサポートする予定です。

詳細はこちら：

<https://www.microfocus.com/ja-jp/products/alm-octane/overview>

[www.microfocus.com/opentext](https://www.microfocus.com/opentext)